

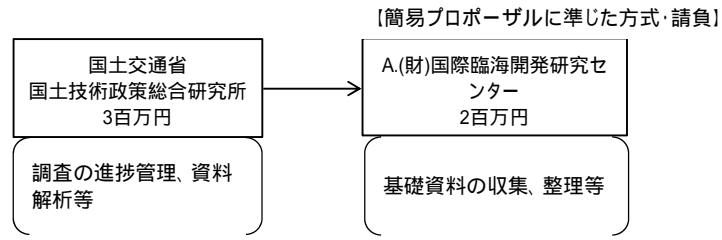
平成23年行政事業レビューシート

(国土交通省)

<b>事業名</b>	物流の効率性と両立した国際輸送保安対策のあり方に関する研究		<b>担当部局</b>	国土技術政策総合研究所(横須賀庁舎)		<b>作成責任者</b>		
<b>事業開始・終了(予定)年度</b>	H22/H24(予定)		<b>担当課室</b>	国際業務研究室		室長 和田 匡央		
<b>会計区分</b>	一般会計		<b>施策名</b>	44 技術研究開発を推進する				
<b>根拠法令 (具体的な条項も記載)</b>	-		<b>関係する計画、通知等</b>	-				
<b>事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)</b>	保安対策が海事輸送分野から国際輸送分野全体へ展開する中で、貨物検査の強化に対する物流への影響緩和策を、ハード・ソフト両面から検討すると共に、テロ発生時、速やかな貿易復旧方策について研究する。							
<b>事業概要 (5行程度以内。別添可)</b>	貨物検査の強化に対する物流への影響緩和策、並びにテロ発生時、速やかな貿易復旧方策の検討のため、国際輸送保安対策についてのハード・ソフト対策に関し、職員により最新の動向把握・分析を行う。 平成22年度:簡易プロポーザルに準じた方式による調査業務1件(保安性確保と物流効率との両立に関する検討)							
<b>実施方法</b>	直接実施	業務委託等	補助	貸付	その他			
<b>予算額・執行額 (単位:百万円)</b>	予算の状況	当初予算	-	-	3	5	5	
		補正予算	-	-	0			
		繰越し等	-	-	0			
		計	-	-	3	5	5	
	執行額	-	-	3				
	執行率(%)	-	-	100				
<b>成果目標及び成果実績 (アウトカム)</b>	成果指標			単位	20年度	21年度	22年度	目標値(年度)
	貨物検査が強化された場合、その影響を最小限に抑えること、並びにテロ発生時に、貿易が速やかに復旧させることを目的とする。定量的な成果目標については、研究のため示すことが出来ない。		成果実績					
<b>活動指標及び活動実績 (アウトプット)</b>	活動指標			単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	貨物検査の強化に対する物流への影響緩和策、並びにテロ発生時、速やかな貿易復旧方策の検討を行う。定量的な活動指標については、研究のため示すことが出来ない。		活動実績(当初見込み)				( ) ( )	
<b>単位当たりコスト</b>	(円/ )		算出根拠	成果実績及び活動実績の定量的な指標が示せないため、単位当たりコストについても示すことができない。				
<b>平成23・24年度予算内訳</b>	<b>費目</b>	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	諸謝金	0	0					
	試験研究旅費	0	0					
	外国旅費	1	1					
	委員等旅費	0	0					
	試験研究費	4	3					
計	5	5						

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・状況・予算の		広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
		国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	-	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目・		支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	-	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	-	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
		費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績		他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	-	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	-	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	-	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
		整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>本事業に対する国総研研究評価委員会の評価結果を踏まえ、研究課題の目的、研究の成果と活用方針、研究体制等の観点から事業内容についても見直しを行うなど、効率的な予算執行に努めていくこととしている。</p> <p>なお、調達については、これまでも入札監視委員会を設置し、契約状況の点検・見直しを行う等の取組を行っており、引き続き、適切な予算執行の確保を図ることとしている。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
一部改善		他機関との連携・情報共有化等を図り、業務の効率化を目指すべき。	
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
本省での取り組みを踏まえ、優先度の高い内容に限定して事業を実施することとした。			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			

平成22年度実績を記入



旅費  
1百万円

諸謝金  
171千円

少額のため、千円単位

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を  
行っているか  
について補足  
する)(単  
位:百万円)

A.(財)国際臨海開発研究センター			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
その他	直接経費・諸経費・技術経費	1			
人件費	調査職員	1			
計		2	計		0
B.			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途  
 (「資金の流れ」  
 においてブロックごとに最大の  
 金額が支出されている者について  
 記載する。費目と使途の双方  
 で実情が分かるように記載)

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(財)国際臨海開発研究センター	保安性確保と物流効率との両立に関する検討	2	1	99.68
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					